



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！アクティブ南関中」

R4南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 21 (文責 永杉尚久)

0 学期始動中！

中学校では、1月～3月までを1つ上の学年の準備期間として0学期と呼ぶようにしています。

つまり3年生は高校への、2年・1年生はそれぞれ3年・2年生への助走期間として、心構えはもちろん、学習の補充、体調管理や体力のアップを行って新しい学年に備えようとしています。

植物は寒い冬の間地中に向かってしっかりと根を張り、温かい春に一気に葉を広げ花を咲かせます。子どもたちも同様、飛躍のためにエネルギーを今体の中に満たしているところです。

立春を過ぎ、太陽の光が少しずつ温かさを増しているのを感じられるようになってきました。春はすぐそこまでやって来ます。



先日、裏の畑でふきのとうを見つけました。

九看大よりボランティア

2月より九州看護福祉大学の3年生2名が、陽だまりルームのボランティアとして毎週月曜日に来ていただくことになりました。

2月6日には陽だまりルームの生徒と顔合わせをした後に、トランプやスリッパ卓球で緊張をほぐし、学習指導や3年生の面接の練習に付き合っていました。

生徒たちにとってはお姉さんのような存在で、こやかに会話をしている様子が見られました。今後更に親しくなって、楽しく過ごすことができると願っています。

3年生 恩返しプロジェクト

卒業を前に3年生が南関中への感謝の気持ちを込めて嬉しい取り組みを行ってくれています。自転車小屋のナンバー書き、看板のリニューアル、中庭の掃除、小学6年生への学校紹介(ようこそ先輩)などです。忙しいにもかかわらず受験の合間をぬって活動してくれていることに感謝します。ありがとう。

今日の論語

子曰く、中庸の徳たるや、それ至れるかな。と。
先生は言われた、「何事も、過不足がなくて、ほどほどがよい。極端に走らない中庸を心がけよう。」と。
「子育ては塩加減で」という言葉を思い出しました。辛すぎても甘すぎてもいけない、ちよよい良い加減で行うことが肝要だと。しかし、バランスを取ることは難しいです。

南関中生の輝き

【くまもとの笑顔・未来を創る

児童生徒表彰

特別賞 南関町喜ばせ隊 43名

※独り暮らしの高齢者の方へ励ましの暑中見舞、町子ども会行事のスタッフ参加、夏休みひまわり教室のボランティアスタッフ、町文化祭・関所まつりの出場とスタッフ参加等、町内での社会貢献活動が評価されました。

【玉名郡市特別支援学級合同作品展】

2/4～2/12

場所：玉名市こころピア (入場無料)

※席書大会の作品を展示しています。

【熊日郡市対抗駅伝大会出場】 2/12

2年 後藤 煌稀

2年 松尾 空

※当日の力走を期待しています。